



## 2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月9日

上場会社名 株式会社エービーシー・マート 上場取引所 東  
コード番号 2670 URL <https://www.abc-mart.co.jp/ir/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 野口 実  
問合せ先責任者（役職名） 取締役経営企画室長（氏名） 石井 寧大（TEL）0334765452  
半期報告書提出予定日 2024年10月10日 配当支払開始予定日 2024年11月11日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	188,380	11.2	34,050	16.1	35,121	14.8	24,143	14.7
2024年2月期中間期	169,464	24.4	29,320	46.6	30,580	49.2	21,043	58.0

（注）包括利益 2025年2月期中間期 29,555百万円（23.4%） 2024年2月期中間期 23,956百万円（1.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	97.50	—
2024年2月期中間期	84.98	—

（注）当社は、2023年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり中間純利益」を算定しております。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	417,713	362,107	86.1
2024年2月期	387,336	341,654	87.6

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 359,640百万円 2024年2月期 339,444百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	85.00	—	37.00	122.00
2025年2月期	—	33.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	33.00	66.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）当社は、2023年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しました。2024年2月期第2四半期末につきましては、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。当該株式分割の影響を考慮した場合の2024年2月期の年間配当金は、65円33銭となります。

### 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	371,500	7.9	61,800	11.0	63,300	9.5	43,200	8.0	174.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 4社(社名) 、除外 社(社名)

(注) 詳細につきましては、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年2月期中間期	247,618,938株	2024年2月期	247,618,938株
2025年2月期中間期	2,197株	2024年2月期	2,187株
2025年2月期中間期	247,616,748株	2024年2月期中間期	247,616,937株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
(中間連結損益計算書) .....	7
(中間連結包括利益計算書) .....	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(連結の範囲の変更) .....	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年3月1日から2024年8月31日まで)における事業環境は、社会経済活動が活発となり、また外国人旅行客の増加もあり、消費は緩やかに増加いたしました。一方で、円安の進行と円安に伴う物価の上昇が続いており、一部で個人消費の鈍化がみられるようになりました。

シューズ業界におきましては、商品価格の上昇により、お客様の選別はより厳しいものになっておりますが、実需に強い商品やトレンド商品など付加価値の高い商品は需要が増加しております。商品トレンドは、新作スニーカーやトレンドのスポーツサンダルを中心としたスポーツ系カジュアルに加え、旅行やレジャーの他、普段使いもできるファッションの需要が拡大しております。

このような状況下、当社グループは、デジタルインフラの活用、グランドステージと複合業態店舗の拡大、スポーツシューズとスポーツアパレルを含めたライフスタイルカジュアルの拡充に対応してまいりました。店舗展開につきましては、上半期において国内外合わせて34店舗の新規出店を行いました。当中間期末における当社グループの店舗数は1,496店舗となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における連結業績は、売上高は前年同期比11.2%増の1,883億80百万円となりました。利益面につきましては、エネルギー資源や物価の上昇により粗利率は低下傾向にありますが、引き続き効率の良い店舗運営と経費の削減に努めたことから、営業利益率は前年同期比0.8ポイント増の18.1%となりました。営業利益は前年同期比16.1%増の340億50百万円、経常利益は前年同期比14.8%増の351億21百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比14.7%増の241億43百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### イ. 国内

販売戦略につきましては、SNSを中心とした販売促進活動を通じて、国内需要やインバウンド需要の取り込みを強化し、付加価値の高いスニーカーやトレンドのスポーツサンダル、また取り扱い品目を拡大したアパレルの販売に注力してまいりました。

店舗展開につきましては、郊外のショッピングセンターを中心に23店舗の新規出店を行いました。また施設の閉館に伴う閉店と業態変更を伴うスクラップアンドビルドにより16店舗の閉店を行いました。これにより、当中間期末時点の国内店舗数は1,102店舗となりました。引き続き「GRANDSTAGE」「ABC-MART SPORTS」の出店を拡大してまいりました。既存店につきましては、既存店の改装を31店舗実施し、このうち増床改装は19店舗、業態変更は25店舗、2バナー以上の複合業態への転換は26店舗となりました。これらの結果、「GRANDSTAGE」は103店舗、「ABC-MART SPORTS」は120店舗、複合業態店舗数は119店舗となりました。

当第2四半期の国内店舗の売上高増収率は、都市部路面店や商業施設における販売が好調だったことから、既存店で前年同期比12.7%増、全店で前年同期比12.9%増となりました。グランドステージ業態の拡大等により客単価が7%上昇し、インバウンドも増加したことが要因となります。これらの結果、上半期につきましては、既存店は前年同期比9.9%増、全店は前年同期比9.8%増となりました。

これらの結果、国内における売上高は前年同期比10.0%増の1,312億42百万円、セグメント利益は前年同期比16.6%増の283億43百万円となりました。

#### ロ. 海外

海外の店舗展開につきましては、韓国8店舗、台湾3店舗、計11店舗の新規出店を行いました。当中間期末(2024年6月30日現在)の海外店舗数は、韓国318店舗、台湾64店舗、米国7店舗、ベトナム5店舗、計394店舗となりました。(閉店 韓国6・台湾2・米国1)

海外の業績につきましても、主に韓国においてグランドステージの出店拡大により販売が好調でした。為替は円安が大きく進行し、韓国の売上高は前年同期比15.0%増の367億4百万円、台湾の売上高は前年同期比5.0%増の61億62百万円となりました。米国については、インフレの長期化で個人消費は弱いものの、セール等により在庫の消化に努めたことから、米国の売上高は前年同期比13.9%増の146億43百万円となりました。ベトナムにつきましては、連結業績へ与える影響は軽微であります。なお、海外連結子会社はいずれも12月決算であります。

これらの結果、海外における売上高は前年同期比13.9%増の577億82百万円、セグメント利益は前年同期比14.8%増の57億31百万円となりました。

## 品目別販売実績

品目別	前中間連結会計期間 (百万円)	当中間連結会計期間 (百万円)	前年同期比(%)
スポーツ	94,809	105,592	11.4
レザーカジュアル	21,584	23,701	9.8
キッズ	13,484	14,654	8.7
サンダル	12,971	15,335	18.2
レディース	9,166	8,987	△2.0
ビジネス	4,819	5,005	3.9
ウェアその他	9,063	11,442	26.2
その他	3,565	3,659	2.6
売上高合計	169,464	188,380	11.2

(注) 上記金額は、国内及び海外の合計で表示しております。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

## ① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ279億48百万円増加し、3,165億76百万円となりました。主な要因は、店舗売上の増加に伴う現金及び預金の増加208億94百万円、仕入の増加による棚卸資産の増加56億82百万円等によるものであります。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ24億28百万円増加し、1,011億37百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ99億24百万円増加し、556億6百万円となりました。主な要因は、仕入の増加に伴う支払手形及び買掛金の増加103億13百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ204億52百万円増加し、3,621億7百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加149億81百万円及び円安による為替換算調整勘定の増加59億7百万円等によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ184億43百万円増加し、1,912億5百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金収支は、326億35百万円の収入（前年同期比116億16百万円収入増）となりました。この主な要因は、税金等調整前中間純利益348億39百万円、減価償却費29億71百万円、仕入債務の増加額106億8百万円、売上債権の増加額34億26百万円、棚卸資産の増加額9億6百万円、及び法人税等の支払額117億62百万円等を反映したものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金収支は、69億45百万円の支出（前年同期比2億82百万円支出減）となりました。この主な要因は、定期預金の預入による支出24億34百万円、新規出店及び店舗改装等に伴う有形固定資産の取得による支出34億28百万円、及びグループ会社間の事業譲受による支出23億4百万円等を反映したものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金収支は、94億3百万円の支出（前年同期比14億37百万円支出減）となりました。この主な要因は、配当金の支払による支出91億57百万円等を反映したものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年4月10日に公表した当初計画を上方修正いたします。

下半期は、インフレによる消費の鈍化が懸念されますが、企業収益の増加に伴い賃金も少しずつ上昇し、国内消費も緩やかに増加するものと予想します。為替については、円安水準とみておりますが、上半期程の急激な変動はない前提としております。

販売戦略につきましては、引き続きスニーカー以外の商品の拡充を図るとともに、今年トレンドとなった履きやすさを重視したシューズの販売に注力してまいります。お客様の購買機会を拡大促進していくため、グランドステージなどで採用しているデジタルサイネージやヴィジュアルツールを「ABC-MART」にも導入し、『店舗のメディア化』を進めてまいります。デジタル販促と店舗の店頭PRを連動させて、リアルタイムに新しい情報を提供し、店頭での購買率を高める取り組みを実施してまいります。

店舗展開につきましては、「GRANDSTAGE」を中心に国内では通期で39店舗の出店、27店舗の閉店を予定しております。既存店につきましては、引き続き売場面積の拡大を進め、複合業態店舗を拡大してまいります。通期の国内店舗売上高は、既存店で前期比6.5%増、全店で前期比6.9%増を見込みます。

海外事業につきましては、韓国を中心にグランドステージの出店拡大を進め、下期12店舗の出店を計画しております。韓国、米国いずれも前年を上回る業績見通しとしております。

以上の状況を踏まえ、下半期の連結業績予想につきましては、日米の金融政策や地政学的リスクによる為替相場への影響を鑑みまして、当初計画どおりといたしました。通期の連結業績予想につきましては、連結売上高は前期比7.9%増の3,715億円、営業利益は前期比11.0%増の618億円、経常利益は前期比9.5%増の633億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比8.0%増の432億円を見込んでおります。

## (ご参考)

## ①連結通期予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想	365,800	58,700	59,700	40,300	162.75
今回修正予想	371,500	61,800	63,300	43,200	174.46
増減額	+5,700	+3,100	+3,600	+2,900	+11.71
前期実績	344,197	55,671	57,834	40,009	161.58

## ②個別通期予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想	240,000	47,800	49,300	33,400	134.89
今回修正予想	246,500	50,300	52,000	35,300	142.56
増減額	+6,500	+2,500	+2,700	+1,900	+7.67
前期実績	231,586	45,845	48,219	32,899	132.86
当中間期累計期間実績	127,461	28,160	28,905	19,484	78.69

## ※業績予想に関する留意事項

上記の業績予想に関しましては、現時点で得られた情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	167,208	188,103
受取手形及び売掛金	16,262	17,667
有価証券	9,150	8,945
棚卸資産	88,942	94,625
その他	7,303	7,493
貸倒引当金	△240	△258
流動資産合計	288,627	316,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,543	43,531
減価償却累計額	△21,859	△23,833
建物及び構築物(純額)	17,684	19,698
工具、器具及び備品	21,673	26,017
減価償却累計額	△17,277	△21,251
工具、器具及び備品(純額)	4,396	4,766
土地	19,568	19,649
建設仮勘定	351	589
その他	428	443
減価償却累計額	△384	△397
その他(純額)	44	46
有形固定資産合計	42,045	44,749
無形固定資産		
商標権	95	60
ソフトウェア	3,506	3,537
のれん	207	158
その他	807	668
無形固定資産合計	4,616	4,425
投資その他の資産		
投資有価証券	20,026	19,241
関係会社株式	600	600
長期貸付金	167	135
敷金及び保証金	28,041	28,439
退職給付に係る資産	255	53
繰延税金資産	2,390	2,915
その他	598	608
貸倒引当金	△33	△32
投資その他の資産合計	52,046	51,962
固定資産合計	98,708	101,137
資産合計	387,336	417,713

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,238	25,552
短期借入金	1,405	1,390
未払法人税等	11,268	11,065
契約負債	1,074	909
賞与引当金	1,163	1,206
引当金	299	258
資産除去債務	318	312
設備関係支払手形	1,189	1,525
その他	12,013	11,742
流動負債合計	43,972	53,962
固定負債		
退職給付に係る負債	54	53
資産除去債務	473	531
その他	1,181	1,058
固定負債合計	1,709	1,643
負債合計	45,681	55,606
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,972	19,972
資本剰余金	24,043	24,118
利益剰余金	269,829	284,810
自己株式	△4	△4
株主資本合計	313,841	328,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,172	6,403
為替換算調整勘定	18,430	24,338
その他の包括利益累計額合計	25,603	30,742
非支配株主持分	2,209	2,466
純資産合計	341,654	362,107
負債純資産合計	387,336	417,713

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	169,464	188,380
売上原価	81,169	91,836
売上総利益	88,295	96,543
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,081	2,121
広告宣伝費	3,391	3,321
保管費	1,662	1,437
役員報酬及び給料手当	15,878	16,907
賞与	434	522
賞与引当金繰入額	1,172	1,204
退職給付費用	342	374
法定福利及び厚生費	2,508	2,705
地代家賃	16,658	17,901
減価償却費	2,683	2,831
水道光熱費	1,461	1,419
支払手数料	4,828	5,450
租税公課	1,004	1,139
のれん償却額	64	50
その他	4,799	5,105
販売費及び一般管理費合計	58,975	62,493
営業利益	29,320	34,050
営業外収益		
受取利息	266	551
受取配当金	327	222
為替差益	325	—
賃貸収入	368	467
広告媒体収入	17	17
その他	139	265
営業外収益合計	1,444	1,524
営業外費用		
支払利息	5	5
為替差損	—	188
賃貸費用	155	243
その他	24	14
営業外費用合計	184	452
経常利益	30,580	35,121

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	7	1
有価証券売却益	354	30
特別利益合計	362	31
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	136	164
減損損失	246	141
その他	0	7
特別損失合計	383	314
税金等調整前中間純利益	30,559	34,839
法人税、住民税及び事業税	9,515	10,694
法人税等調整額	△78	△104
法人税等合計	9,436	10,589
中間純利益	21,123	24,250
非支配株主に帰属する中間純利益	79	106
親会社株主に帰属する中間純利益	21,043	24,143

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	21,123	24,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,357	△769
為替換算調整勘定	4,190	6,074
その他の包括利益合計	2,833	5,305
中間包括利益	23,956	29,555
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	23,721	29,282
非支配株主に係る中間包括利益	235	273

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	30,559	34,839
減価償却費	2,788	2,971
賞与引当金の増減額(△は減少)	101	38
貸倒引当金の増減額(△は減少)	28	△8
受取利息及び受取配当金	△593	△774
支払利息	5	5
為替差損益(△は益)	△249	151
有価証券売却損益(△は益)	△354	△44
固定資産除売却損益(△は益)	128	163
減損損失	246	141
売上債権の増減額(△は増加)	△606	△3,426
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,177	△906
仕入債務の増減額(△は減少)	1,409	10,608
その他	1,095	111
小計	29,380	43,870
利息及び配当金の受取額	334	533
利息の支払額	△4	△4
法人税等の支払額	△8,690	△11,762
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,019	32,635
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,648	△2,434
有形固定資産の取得による支出	△3,037	△3,428
有形固定資産の売却による収入	0	5
無形固定資産の取得による支出	△644	△392
店舗撤去に伴う支出	△157	△118
事業譲受による支出	—	△2,304
貸付けによる支出	△200	△200
貸付金の回収による収入	244	1,327
敷金及び保証金の差入による支出	△606	△668
敷金及び保証金の回収による収入	595	874
その他の支出	△115	△94
その他の収入	342	489
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,228	△6,945
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,828	△246
配当金の支払額	△7,011	△9,157
その他の支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,841	△9,403
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,583	1,108
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,533	17,395
現金及び現金同等物の期首残高	148,224	172,762
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	863	1,048
現金及び現金同等物の中間期末残高	153,621	191,205

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の変更)

当中間連結会計期間において、海外セグメントにおけるグループ内の組織再編の一環で、在外連結子会社(出資比率100%)を1社設立し、また前連結会計年度まで在外非連結子会社であった3社を連結の範囲に含めております。なお、子会社の決算日である2024年6月30日をみなし取得日としており、かつ、中間連結決算日との差異が3ヵ月を超えないことから、当中間連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益計 算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	118,827	50,637	169,464	—	169,464
セグメント間の内部 売上高又は振替高	508	73	581	△581	—
計	119,336	50,710	170,046	△581	169,464
セグメント利益	24,300	4,991	29,292	27	29,320

(注) 1 セグメント利益の調整額27百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益計 算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	130,654	57,726	188,380	—	188,380
セグメント間の内部 売上高又は振替高	587	55	643	△643	—
計	131,242	57,782	189,024	△643	188,380
セグメント利益	28,343	5,731	34,075	△24	34,050

(注) 1 セグメント利益の調整額△24百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。